

平成10年8月25日

朴木の古老聞き取り

朴木公民館

青木 東田さんちやお年は

東田 数えて79歳

青木 舟木さんは

舟木 ちょうどなった

青木 70け笑い

舟木 80になった

青木 すみませんね明石さんは

明石 おらあんた数えて84え、

青木 お元気ですね

舟木 70なら酒いっと樽でもだすわいねそうけ、どれだけでも出しますて、

青木 昔からしやばが変わったもんやろ、

明石 変わったどころか

東田 変わった言わ変わったし変わらん言うたっちゃ変わらんただ今ね今の森実アパートやね市民病院立ってね増えたちゃ人口増えた今であんた120所帯からあるがいちゃね

小泉 川口よか多いですねそだけなとつけでね、

舟木 おわっちゃあんたね30何戸からあったがいちゃ35やら36戸昔あったがいちゃ

東田 昔は34所帯

舟木 おわっちゃ学校行つとつた時分はね、

東田 3倍も4倍もなったがやけでね今・・・おわとこの前だけで18、アパートも入れればあこあんた所帯数で言わ30ほどなった・・・でかいとなったね。

山崎 おわズバリと東田さんにお聞きしたいがけども、いまあのどう言うたか朴を使っていろんなものを細工しておられるんでしょお盆を、あれちゃいつ頃から始まったものですか？

東田 いつ頃から言うて、そやなおわっちゃんの親がしはった、お父さんからけ、そやの・・・明治時代、・・・明治の中頃かね、そやね、爺ちゃんの名前は、舟木きたろう、襲名してしやる、名前は・・・東田さんと言うのは舟木さんと兄弟ながでしょ・・・ね、だからそれでおおてくるがいちゃ、それでほあの高岡ね一番問題はあのほれ、今の伝統工芸の資格とるが、なかなか新湊におってね高岡の伝統工芸の資格をとんがなかなかとれんもんや、伝統工芸士の認定、伝統工芸士の認定を取ったのが何年前やっかな5年も7年もたつか・・・

山崎 あの仕事の順番いうたら、どう言うていいか板ちゅもんか、あれを切つてあとは彫刻刀でやらんがけ、

東田 昔はみんな手で彫つとつた、

山崎 今は機械け

東田 今は機械や

舟木 昔、丸太をこの人（東田さん） こうして彫っておった。

山崎 あのお盆があつて、鯛ありますね、鯛の尻尾（しっぽ） あがつとんがあれが一番どういうて、いいか元からやっておられた形ちながけ・

東田 ・はあ・・・山崎ほお、

東田 あいつがあでほ、大正時代にアメリカの輸出用にシカゴで博覧会あったときにそんなときに作っておった、

山崎 それ何年位ですか

東田 何年や言わどうかね

山崎 大正け、今いわゆる大正け、万博に出品されたちゅことやねー

東田 そんな時ねシカゴの博覧会にね

山崎 そんな時に日満博覧会にも出されたがいね、富山のそれは昭和11年

舟木 昭和11年4月に日満博、富山で（日本と満州の連絡船が出来たがいね）富山がその朝鮮のせいしんとの間定期航路が開かれたもんで満州との航路行きが盛んに成るだろうとそれを富山で日本と満州の特産品を展示しようと、結構ね当時としては立派な物で、赤い鯛ですか、

山崎 こないだも高岡で見て、えらい高位値段するがいね、高い物やね

東田 今どれだけするやら。

山崎 ん十万円やちゃね、 ん十万円やちゃね 何十万円かそうゆう品物ばっかやった

東田 そうゆう品物ばっかやった 山崎 あれ、なら塗って、仕上げまでやられるがけ、

東田 なん、塗るがは別なが、塗るがは高岡へ、

山崎 そしたら、基の形だけ、まで、

東田 はあ

山崎 あんなら基は塗るがもやっておつたがけ、彫るだけけ、そしたら朴の木とかおわとこの家にも有るがいけど、あれはいっぺん戻ってきて、手に入ったと言うことかね、

舟木 このっさんの兄弟法事にもらったがいちゃ一尺かね、

東田 八寸、その上やったら一尺

山崎 そうゆう彫刻を持ち込んだ人と言う人ははやっぱり青木さんから出ておられる薮波さんけここに碑あるにき薮波さんが持って来られたがけ

東田 無しらん、おわとこ村田から

山崎 村田さんが一番最初やったんだけども

東田 ばっさ

舟木 ばっさ今のおじじにあたる

山崎 わえもんさんけ、わざえもんさんけ

舟木 なんやちや

青木 村田和吉さん

山崎 和吉さんちや美吉さんのお父さんけ、おじいさんけ、どう言うか、あらねおわとこのおじいさんは、ばっさ（村田）へ行ってちょっこ習ろてきた、

山崎 そでちごがけ・・・・

青木 美吉さん所ろや

東田 あこのじいはんがやったあのおじいはんちゅうもんにや代々なんして彫刻家ばっかや

った

山崎 なかなか聞くと経済的にこう、花筵織ってみたりねね藺草作ってみたり、藺草から花筵織ってみたり

東田 舟木のおわとこの本家や、

青木 村田さんは私とこの縄張り人やっておった

山崎 高樹さんの後くっついて歩いた。

青木 はい

山崎 明石さんにお聞きしたいんですけど、ここで瓶焼いとったでしょう

明石 ええ

山崎 その瓶の現物ちゃどっかにあるもんですけ

明石 あのね朴木焼きちゅうもんここに作成しておられた、その初釜日のが大切にとってあるが、

山崎 あなた所にあるがけ

明石 ええ、家にありますがいね

山崎 青木さん一辺写真に写さしてもろて、

青木 ええ これかね ええ

明石 この大黒さんの立派ながあの初窯に焼いてありますて

山崎 ある窯いくつ位あったがかね

明石 窯ね、は入っとくちの窯はあの袋窯と言うて、そやねー・・・八畳間一つほどのでっかさその次が第一の窯立て窯 立っとる立てがまや言うてそれが一つ。第二窯言うて立っとる立て窯が二つ。その次が袋窯言うて袋窯でない、煙抜き言うて六畳ほどの窯が作られとったもんや。このむかえ青木さんの向かえに直機とこの住宅にありました。

青木 いつもスキーすべっておった

山崎 何人ほど居られたられたもんけ

明石 何人もなんやっしやらん

山崎 その家だけで・・・そしたら生産量ちゃそんなに多いもんでないがいね

明石 窯のこったね砺波の福山ちゅう所あっそうやね

山崎 ああ

明石 その福山にいくつもあつたらしいです。

山崎 なら粘土ちゃ田んぼの下から取ってくるがけ福山の場合は山の泥

山崎 ここは

明石 田んぼの泥

青木 どっかここの所け

山崎 この砂取り場か

明石 砂取りばでないここに在家ちゅ所の泥取ったが・・・

山崎 青粘土け

明石 青粘土やね

舟木 おわっちゃしらんこっといね何処の方ね

明石 在家ちゃおらとこの田んぼの所で取っておった。

青木 在家ちや公民館の横け
明石 あんた所（青木）の前や
青木 家の前け、
東田 工場のすぐ前、近く
山崎 そうせんにやあんな重たいもん遠い所から持ってこんど泥のある所へ窯作くらんと、
そうせんにやわざわざ運ぶがやったらそこへ言って作った方が窯作って製品運んだ
方がらくやもん・・
青木 がま泥ですか
明石 舟木 がま泥やちゃ・・・砂の混じっとらんが
東田 朴木ちや変わったことしとったがいちゃ
山崎 朴木ちや塚原の中で朴木が一番いろんなことやとられるが、たとえば今焼き物で
しょう、彫刻でしょう、その上藪草作ったり花筵作ったりそう言うことちやおそら
く青木さん（寺）藪波さんが持ち込んだもんでないか思うがいちゃ青木さんの先々
先代のおっさん
青木 藪田へ行っとられる人やちゃ
東田 そんなもんわからんわ
山崎 だからそこに碑立っとなにき。藪波さんとだれやつたっけ
明石 たけなみ薫樹おわっちゃん子供の時に朴木言うたら朴の木植えてあつたが、川の縁に、
両側に・・・
山崎 それで朴の木
明石 それで朴の木言うが西朴の木ちやあの氷見に
山崎 ええあります
明石 それで朴の木植えてあつてね両側にあの大用ちゅ水門あつたがその水門まで植えて
あつたが
山崎 その朴の木植えたちゅことは、細工のために植えたけ
明石 ええ、それが村田わすけちゅ人が彫刻を初め高岡で習ろてきて、初められたそれが
高木作次郎言うて高木製作所の社長はんが弟子こでは入っとられたが、村田和介ち
ゅう家に・・
山崎 あんたこの資料どこから持って来られたがけ 青木 塚原小学校 100 年と言う資料か
ら
山崎 そんがねここにあのほれ反物も織って織られるでしょう絹織物ちゅうかはぶたい
明石 おわとこの背戸の森さんやっておられた。
山崎 えらい金額がでっかいがいちゃ僕見とつてね。その明治の終わり頃に価格 2 万 1 千
4 円と書いてあるがいちゃね 2 万 1 千 4 円言うたら今のおそらく何億円成ると思が
いちゃね、折り手間か反物の値段ながかねと思つて
明石 やっぱ反物の値段でしょうね
山崎 折り手間じゃないでしょうね
青木 森さん言うたら本家け
明石 ええ、さなだ織り言うて朴木に作られておつた。森さんと川上さん言うてじんだは
んしとられた家、田中斉さんの家の跡や 昔はしんすけさ言うたが、明石 じんだは

んしとられた。明治のじんだはんやけで昔珍しかった。

東田 あんま昔の事言わはってもおわっちゃわからん。

青木 明石さん年とったはっからやちゃそやから知ってはるがいちゃ

青木 神楽川あるがいけど朴の木植えたった

明石 神楽川と高島川と神楽川こう来ると高島川こう来る所でせき止めとったが高島川がそこで考えたがが高島の人朴の木の人のか考えなろたがか朴木には朴木の両岸に朴の木植えてあったがその朴の木ちゃ川の中に根張ったら真っ白の白いが子供の自分にいろいろ思いだいたっちゃこんもんやね・・・そこに先祖が考えてウナギの養殖しとった、そしたおわつちゃ子供のしぶんに親だっちゃバケツ持たせてお客さんみえんがいやからうなぎ取って来てくれいうて言われたちゃそこへ行ったっちゃその根中へ入れたっちゃウナギがうようよおんが・・・そしてバケツに一杯位直にすつとこまいて来られた。そんで一人行くが寂しいもんじゃけでカドヤのおっさん言うて読売新聞社のししつしとられた人なが朴の木に租界しておられておらのこった富山の連帯で一緒に居ったけどその人さそて行くが川も恐ろしいしね、やっぱあー危ないけで

明石 そう言うたっちゃ真ん中にね、砂地あんが両側に朴の木植えたって白い根の木が川の中にずーと出とるが、その中にウナギが生息しとるが、手づかみでいくらでも、バケツに一杯位取れるがそれがまた昔の人考えて川の真ん中砂地かんかんの砂地そこにシジミ貝泳ごそうとした。カドヤ（川西）のおっさん川西しょういちちゅう人や、そのおっさんなバケツ持ってシジミ貝取るおらウナギ取るして、そして共同で・・・そして若い自分にやそう言うことしとって、先祖ちゃ考えたもんやなー思うて子供ながら。片一方ウナギ取る片一方シジミ取る、そして仲よらと少年時代ちゅもんか青年時代ちゅうもんか

明石 そいつが朴木ちゃどこまであったもんらしい、こりゃ想像すれどあのそれは、鏡宮の川と神楽川と合流しとるところが神明ちゅう所やった

青木 神社

明石 宮あった所、この神社有ったところ、その田んぼがおらとこの田んぼやった。そのためになじみになってウナギ取りに行け言うたりウナギ取りに行ったりしとった。それがどこまで続いとった言うたら子供自分にはむかえ、むかえちゃこの言葉で言うて通じんがいと、さんまい行くがに橋架かっとった。それが前田ちゅうところや、神明と前田の間に朴の木植えてあったが子供自分にそれが想像したっちゃ、大用の水門まで植えてあったらしい昔は、そこで朴の木、朴の木言うたもんかなと思うて青年時代に中学行ってから考えとった。それが何んで伺わせる言うたら、枝地、神楽川の縁に狭い田んぼが作られとった枝その枝に朴の木いべてあった、田んぼにするためにその枝地も先祖が作られたもんでないかと思うて

山崎 なら朴の木植えて朴の木は

明石 村田わすけちゅ人が高岡から習うて来て 山崎 護岸になるわね。土手くずるんがをなんなん 川崩れるが防いでくれるでしょう、神楽川が崩れるがを

明石 護岸にもやくだつとる。ならハサにしたもんけ

明石 何言うとながけでっかい木や

山崎 だからハサにも使えたがじゃないがけ

明石 ハサはなんやー

山崎 直径一抱えほどけ

明石 覚えとるもんそう言うもんが両側に白い根張って川へ出とる中にウナギ養殖しとった。もんらしい子供自分に朴木言うたら朴の木あっけでかなーと思った村田和介さん所へ遊びに行ったっちゃぶきなのノコギリ言うてでっかいもん、木引いて居られる朴の木を板に刻んで彫刻しとられるが 山崎 朴の木ちや成長の早い木け 東田 そんな早くないやっばー30年位たたなんものに成らん

明石 やこい木でない、やこい木であれど

山崎 はんの木ほどの 明石 高島川にははんの木植えてナマズを養殖しとったそしたら朴の木の根の下にはウナギ高島には柳の下には柳の根赤いがナマズの保護色とウナギの保護色と・・・・子供自分にナマズほしかったら高島川赤い根の中手入れたらナマズ・

山崎 今東田さんは使っておられる朴の木言うたら何十年位たった木ですか

東田 今おわっちや朴木使わんとカツラ使こつる北海道の

山崎 カツラはなお硬いがでないがけ

東田 な〜んそんなにも カツラでっかいもん

山崎 朴の木ちや柔らかい木やね

東田 そやね 山崎 50年〜100年

東田 だいたいやね

山崎 あんとここに積んであるが見ると、この位の幅やっばー100年ほどかね

東田 小さいがでも一尺五分位

山崎 45cmやね

東田 でっかいがで二尺五寸こすけでねそつたっちゃとにかく製材所行っても今だんだん型の太いもんおおかないようになった、そやもんだけで、つんからつぎ、いまでおわとこ二尺位が一番でっかいが

山崎 60cm

東田 二尺文の十二尺文だったらどだけんの石数に成ると思うがいねん!!

山崎 板の厚さはこの位あるがでないですけ、板の厚さ何cm位あるがですかずーと積んであるねかねー

東田 本当はおわっちやの業界では七分五厘 3cm 山崎 そんな薄いかねおわら見とつたらこんだけんあんがかなー 三寸か4寸あるがに見えるがいけどね

東田 普通ね鯛の頭作つとつた時は一寸六分か二寸ありや出来ることいねそうせんあんと算によあわんもん

山崎 こんな大きいが使こつてちゃみんな捨てんなんもんね

東田 無駄になって

青木 川、舟で行き来した

明石 舟通るところかええ、朴の木話で松の木ちや中曽根の境からざいしょに向こうて子供じぶんに松の林あつた

山崎 あのほら小物成りの中に朴木川役なかつたけ

青木 川役有りました 舟あっちゅうことやね・・・

青木 家に何艘か舟おったがやろう 舟木 朴木に二艘舟おった

明石 おらとこに一ぱい村田和え門さんに一ぱい

山崎 村の中の川に止めてあるが見たこと有るが村の中に

明石 おらとこに一ぱい村田美吉さんとの前に一ぱいてんでんに自分の前に止めてあったらしいねええ

山崎 水さえ有れば稲運ぶがに人間の何十倍運べるからね・・・おわ、肩ね棒でかたんだら乾いた稲でも10束やね何百つめるがいもん ええ そんなもん全然ちごもんやちや運搬能力は

青木 田んぼ有る家にはやっぱ舟必要やちゅことやね一何ばいかあったがいねー 舟木明石 そんないっぱいがない朴木に二はいしかなかった。

舟木 おわっちゃ覚えとるがちや村田美吉さん所とわしとこ

舟木 あんた所にあっただけ

明石 おわおいてからでも二はい目や

青木 家にもなんばいか有ったと聞いとる

東田 朴木は沼田農耕やった、かた田やった

山崎 そりや稲運ぶだけじゃなしに縄も運べば、縄二貫目新湊まで積んで行くがに米運んだり

青木 おんこ運んだもんけ

舟木 二十表しか積まんがいちや二十表積んだっちゃこだけほども・・・

青木 糞尿も運んだがけ、町から持って来たがでないがけ

山崎 もちろんやにき、帰り荷物・ハサ用の竹とか当時は屋根板でしょう。屋根板積んだりそして帰る・行くとき縄持って

山崎 おわ家にも舟有ったしやとったこと、それわかるがいちや

東田 それで鏡宮から出てくるがいね。

舟木 縄積めてね神楽川と鏡宮との中にはそこにあるう30メートルかまでで合流なつとるがいちや

青木 大用の所大きなつとる所

東田 中用の所や

山崎 高島の方から流れこんで来とったがけ・・・

山崎 もう少し上ので沖塚原に三川ちゅう所あんがいちや

青木 大用ちゅ所やよ

山崎 あれは布目から出て来る所やね・・・それから寺塚原から出てくる所もあこでいっしょなんがいね

明石 そいつがねちょっと話ししとかんなんと思うてこの前老人会の会合あった時に、大用の話しちょっと出たが大用ちゃね、あの昭和18年3月に解体終わった舟木なおのりさんの時に手ったいしてくれ言われてそして解体工事終わったが、その材料はでっかいでっかい1メートル以上の材料使ってあった

青木 あこに何かあったがいろ

明石 水門

青木 水門あって
明石 それが加賀藩の検問所やった
青木 家のが行っとったなんやら言うてはった
明石 検問所の門番があんた所の青木太平いちゅ戸村青木太平ちゅう人やった。
山崎 今言うたはることがだんだんはっきりして来たがいけどこういう事でないがけ、形通り書きますとこれ神楽川やね言うたら、高島の方からここでこうなっておって上いっ
とってここで来てもう一本こうなっておったがでしょう
明石 ええ
山崎 ここを大用と言うとられるがいね
明石 ええ
山崎 どんな字書くがけ
東田 大用はかまで
明石 大の字と用いる（用）大用用水と・・・
明石 大用用水門と
山崎 おわらここを三つ集まっとるから三川て言っとるがいちゃ
明石 三川言うるとるがいろ一
山崎 ふけちゅう所ここあたりでしょう
明石 ふけちゃ水門のきわ
山崎 そのつづき沖塚原もふけ言うるとるがいちゃそれでわかったそこ低い所や、水門作られたががここけ
明石 ええ
山崎 ここから水を取るちゅうことけ
東田 ええ
明石 水門止めたっちゃあの水門止めたっちゃあの浅井、櫛田から米運んで来るがに使こ
とった検問所やから ああ 加賀藩の倉庫六渡寺にあったがそこへ運んが
山崎 布目から来るのもわかる沖から来るのもわかる
明石 ええ それが水源は庄川から取っとった。
山崎 ここ通って来る松の木や寺のがもわかる
山崎 わかって来た
青木 水源は和田川やね
明石 米運んで来るがに大用ちゃ水門止めたっちゃ米舟に積んで来らるんが
山崎 そしたっちゃ朴の木植えてあったここですか朴の木
東田 そやそや
青木 改修工事があつたがでないけ
明石 なんけ
山崎 はんの木植えてあつたがここながでしょう
明石 はんの木ちゃ鏡宮
山崎 高島のほうけそつでわかつた
明石 ?はんの木は高島側朴の木は朴木側に植えたつた。そしたら大分分かるわ・・・
東田 おもしろいことしとつたもんや

山崎 これわかります？明治18年と19年にね朴木と松木と沖塚原と寺塚原がけんかしたるがいちゃ

明石 ええ

山崎 それ聞いとられます

明石 ええ

山崎 ここ止めたがでしょう

明石 水門を止めた

山崎 水門を止めて水引こうとしたら水引かんもんで水浸しになったがいちゃ

明石 そやそや

山崎 なったがかがこの前言うた朴木事件ながいちゃ・・・これは大阪まで裁判に行つとるがいちゃねこれでだんだん解ってきたがいちゃ

明石 それで昭和18年の3月にあの大用水門を解体せい言うてあの舟木なおのりさんが土木しとられた時にわしに手伝いしてくれ言われて解体終わって高島せいじろうちゅう製材所へ材木やへその材料持って行って加工してもらた 青木 どんなでっかいもんやったがいね

明石 1メートル以上でっかいでっかい基礎から横門からそう言う門組み立てて

山崎 甚大杉やったがでないけ？・・・

明石 そやけで大用言うたら有名なもんでそっこさ櫛田浅井から米舟でいっぱい積んで通おらんなん関所やったがええ 放生津り米倉へ・・・庄川口やったら吉久の米倉へ持って行けど神楽川の縁ちゃ放生津の

青木 アルプスの方からいっとった

山崎 内川に行く前に法渡寺へ行く川もあった。

青木 四日から行く

山崎 もう道路になつとる 立町と二の丸橋あるところに川があった。

青木 お寺さんの

山崎 曼陀羅すさんの前の方に

青木 中世の遺物が出るがそれでか中世のものがいっぱい有る

山崎 結局ゴミ捨て場になつとつがかな～

山崎 低いとこやから

青木 はあ

明石 高島ちゃ水門を止めても島になつとつたやら昔から高島で通つとる水門押さえたら沖でも寺でも布目でも水浸しなんがえ

青木 高島はなんで高いかと言うとここに川流れとつた、ここが昔の神楽川やちゃねそやからここに微高地が高島が出来るがいちゃ

山崎 高いから高島け

明石 うまいこと考えたもんやちゃ

明石 松木にしてもねおわっちゃ子供自分にあの浦上の植木やのあこまで松の木おえとつたそして泉田ちゅう人がどうもその地帯を支配しておつたらしい

青木 舟おらんだけ

明石 舟なんしらん

東田 舟おらんちゅことは朴木はかた田になって大正8年から馬使うようになった
山崎 硬いけどお菓子食べてくだはれ・・・食べて
小泉 柔らかいもん・・・
東田 昔のがと昔あんた一松木、松木から朴木来る道七尺やったのー
山崎 2メートル10センチこんだけやちゃ
青木 そんな狭い道やったがけ
山崎 そんなもんやちゃ
東田 そんな時におわっちゃ小学校行っておったとき
舟木 いいがに川の縁行ってしもうがいね、あるかれんがいね・・・
山崎 車通おりやそれでいいがいから 東田 自動車やの 自動車通る道じゃないがいけで・
・
東田 わら考えてみりや・・・
舟木 自動車ちやなんおらんだもんやちゃ
東田 それから道路通して二軒になった
山崎 沖塚原と布目は県道で何10メートルあるにきねあれもね、元はねあぜ道やったが
たたみ、こだほどのはばの所に溝有って自転車に乗ったらキードンやって、そんな
もんやちゃそれをだんだん広げていったんで広げた時におわとこの屋敷削られん言わは
ったら道曲がって行くがいにき
青木 ああ
山崎 削りやすい所だけずって行くもんやからこうやって、松木部落の中でも細いでしょ
結局おわとこやおわとこや言うてこんながなった。
青木 それでこんながなったがけ、諏訪社あるにきね諏訪社って言うおうか中用の所にね
お宮さんあったが
明石 神明社
青木 ここにおられるあれちややっぱり天満宮
明石 今は子供たちの天満宮になっとるけどおらつちや子供の時に立派な宮立っておった。
ウナギ取りに行くときに
山崎 なんちゅう名前青木 神明社
山崎 あんたらどう言うとった
青木 天神宮
明石 天満宮 学問の神様菅原道真を奉ってあった
山崎 天満宮やったがけ今はなにけ
青木 合社して日吉社になっとる昔から日吉社ながけ
明石 東田 ええ
明石 日吉社は昔からええ
青木 中用に有ったがは
明石 神明社、神明はん神明はん言うてしゃった
青木 あこに土蔵ちや何に入ってはるがいね
東田 神明はん石の
山崎 いっしょになっとるがは天神堂と神明社日吉社 明石 神明社ちやそっこさ神明はんと

日吉社が朴木の宮であるがで朴木の宮二つあっちからこっちへ持ってきたが

明石 天満宮子供の時分からおらっちゃ

山崎 天の・・・おらっちゃ天神様言うにきそのご神体はどこ行ったんですか神明はん

明石 ここに来とられる

青木 ここの中におられると思う

山崎 神明はんて言うのは名前も

青木 神明はんがここに合社したかでしょう

明石 合社でないここに独立してあるにき

山崎 あんがけ

明石 ここにあんにきここに天満宮言うて4月24日に供養している・・・・

青木 学問の神様ちゅうがで川沿いにどこにでもあるがいちや北陸の方が特に

山崎 加賀藩の藩衆がだいたい菅原出身や言うて自分で言うてはっけで梅鉢の門が・・・
・尾張の出身ながにどこでどうなったしらんけど・・・・川の改修工事神楽川であった
言うて聞いたがいけど

山崎 直線かしたがいね

青木 曲がておったが

舟木 昭和19年やっただけ

東田 19年

山崎 昭和11年沖塚原もまっすぐにしたがいからねあっち行ったりこっち行ったりしと
るが水つきやすいから 青木 これまっすぐやね

山崎 川を広げたがかね（地図を見ながら）結構真っ直ぐやね

青木 昭和4年やね

山崎 神楽川のこったしよっちゅう改修しとるがいちやねたとえはずっと下ものね姫野あ
たりでも改修しておるが川を広げたり深くしたり縁盛り土したりしていつもその水が余
る川やっただがいね。

青木 地図原本があった言うておったがいけど

山崎 あろうね・・・こないだ目録書いたのが原本やと思うがいけどそしたら昭和4年ち
ゅうことに成ればあれも昭和4年ちゅうことやねーそれから写したもんやね・・・

青木 そうです

山崎 朴木なんなかったよ朴木のそれがなんなかったよだから原本かりてきてなんかえと
らんが・・・

明石 青木さん所ねあの大事なもん書いたがなけんなんがいねーあの収納米の加賀藩の

青木 有りました

明石 あろうそいつ見ればだいたいの今参考に成ることでっかいとあるがいけど・・・

青木 川役て書いてありました。大用にあんなもんあったがいねおとっちゃんらちに聞か
んなんわからんがいね

山崎 おわら昭和の人間やれどね昭和10年頃ね魚釣言うたら今、あんたこの大用まで
つれんがそれからこっち来たらしかられるがお前っちゃよその所来て何釣つとる言うて、
だから三川までで終わりながいちゃ魚つかますがには三川から急に深くなっておったで
すね。その上が浅いがいちゃ三川ここらあたりまで来るがいちゃ、深いせいもあつたけ

れどもそっからこっちちゃ魚とれんこっといね・・・何かそこに縄張りみたいもんかね
何となく有ったらしいが高島の人かして交差点まで来るけどもこっちちゃもう近んちゅ
うことや

青木 魚食べておったがけ

山崎 お互いの集落の権利やろうね 魚食べとつちゃなん食べとらんよ・・・川魚言うたら
馬鹿にしてねもう食べんもんやちゃ

明石 そやそや

山崎 川魚食べる人は他におるがいちゃ言うて・・・明石 だけど昔の人ははしかかったち
ゅう事やお客さんいらはる言うたらちゃんと養殖しよう養殖しとるような場所作っ
ったちゅうことや高島行ったらそっこそナマズええ朴木来たたらウナギ

東田 ほっでやっぱそんな時のこと思ったら難しいもんやて・・・何しとるやなんわからん
て・・・笑い

青木 時代変わってしもとるわいね大変やった思うがいね

東田 いま、こっで一番変わったって・・・市民病院行ってさえどこのもんじゃわか
らないほど人入とるね・・・笑い

山崎 そっでいいがいけどね

東田 しゃ場変わってしもとるがいけどね・・・

小泉 朴木のねあの家の件数100何十なつたって言われるがビックリしましたね。調整
区域でないからでしょうね。・・・

東田 いっちゃん先は森実来たろう・・・

山崎 神楽町あるにきあこは朴木の地面もあるはずやがいね。そこもそう言わんとあっち
神楽町として独立しとるがけ・・・

明石 そや朴木なん入とらん青木 地図見てここの境えながいちゃ

東田 ちょっし鉄塔の出とるとこちょっし飛び出取るところやね

青木 これ見たらね

東田 ちょっし端っこ

青木 ここやねそやああ一ちょっしおかしいがねこうやって来とるがいね

山崎 なんなん自分所の地面でないからそれつづいとるがい 青木 ここ 山崎 そうそう 青木
ここに何か有ったもんかね

山崎 そつからこっちかって有ろうがいねその辺りかして神楽町言うたら

青木 こっちも・・・こなんしとるがいね緑の方ちゃ川の流れたがけ

山崎 おらねおそらく、もと その舟が出入りする川やったがと思うがいけどね

青木 畑しておられる

東田 畑

明石 高島の境にけ

東田 なん～おわんとこの方や

青木 東田さん所

東田 おわとこの前全部畑やった。

山崎 神楽川を広げた時あまった土をそこへ持ってきたもんか？それしか考えられんわね

青木 ここに川流れとるわし所の横に川有った

村田 それは排水兼用水、用水兼排水やったもんや

村田 藤本はんの背戸通つとるがいちゅう。

山崎 堀あげた土のしまつやろそう言うこと考えられるがね何でそんな細いもんがあるが
かって思ったがいちゃ朴木ちゃ案外低いからだから畑にすんまいかちゅう事になったが
でないかね

青木 この土を取ってきてここに・・・・

山崎 もう一つ昔の明治7年のそれ有ればはっきりわかると思う明治7年に地検公布のため
に測量しなおしとるがいちゃ何年前やったつけ14の17の30いくらやから50年
前ほどのその先50年前それおそらくあんた（青木）家にあったもんやと思うがいちゃ
肝煎りの所へみんな来とるがいちゃ

青木 ふすまにはいろいろあるけれどいまでもう

山崎 高木の北本りきさんが全部副校長やからあの人測量するら、射水郡全体のもんやっ
とんがいからえ、そつと比較すればその意味解ってくるんでないけ・・・・

東田 畑なかったけでやちゃ

山崎 だろうと思うがいね余った土畑にすんまいかとやさいもん植えるがに 山崎 や一こっ
で時間もやまだまだ

青木 ええいろいろ話し聞けてありがたいねーもうこれで伝えて行く事ないでしょう若い
もんに。

山崎 せっかく来てもろうたからおみやげもってこれ高岡のがですけど最後にみなさんに
・放生津往来やちゃね 高岡から言うたら放生津往来、放生津から言うたら高岡往来

青木 松木からあこ抜けておったほお・・・・

小泉 朴木の方お元気ですね・・笑い・・

山崎 元気よりもしっかり覚えておられることが、おわらやったら東田さんほどやったら
ポーとしてしもて・・・・

小泉 年代まで覚えていらっしゃる

青木 ほんとやね明治何年言うて覚えたはる 舟木さん、東田さん、明石さん村田さんいく
つになられますか村田さん

村田 おわっちゃ大正10年うまれ

青木 や本当にありがとうございました。

山崎 いろいろ解ってきたことあって、朴の木植えてあつたちゅう事初めて聞いたね 青木
いつ頃名前がついたんですか

山崎 朴野ちゅうのはもともとあつたらしいがいちゃね朴野、村立てして朴野が朴木にな
つたらしいがいちゃね・・で朴木になったんだけど、こんだ明治になると朴木・・あつ
ちも射水郡朴木でしょう氷見の朴木でしょうこっちも朴木でしょう射水郡朴木ちゃ紛ら
わしいからあっちが西こっちが東あっち西朴木こっち東朴木・朴木ちゅう向こうは集落
がまたでっかなってほかの名前になったもんだからこっちが東とつたがでなかな思うが、
あっちが名前変わったから、こっちは東とんまいかちゅうがなつただろうと思うがいちゃ、
明治20何年やろうと思うがね、塚原村できた時にはまだひ東朴木になつとつね

青木 もう一回舟木克明さん所のじいちゃんちゃ藺草かなんか

東田 ええ

青木 今亡くなられた克明さんのおとっちゃんちゃ藺草なんかやっってはったがけ
山崎 克明さんのお父さんじゃない
舟木 お父さんちゃ学校の先生してっしやった 青木 学校の先生してっしやった？
山崎 塚原村の助役さんしてっしやった、だからその人なのか、東田さんの舟木さんなの
かわからんが舟木なんやっした、はじめて藺草作る人さだじろうさんけ、さだじろうさん
言うたら・東田さんの関係みたい・
東田 おわとこの本家
山崎 本家でしょう。そこののが亡くなられたがのお父さんのおじいさん位ならんけね。
青木 屋号いっぺん聞きに行くちゃ
明石 あのね舟木さんの話出たがおわっちゃんのおばあちゃんちゃあの、おら子供自分に舟
木克明さん所、法渡寺や法渡寺や言うた六渡寺から朴木へ来とらる。六渡寺や六渡寺や
言うて・・・そう言うたらられた。
青木 克明さん
明石 克明さんの先祖ちゃ船乗りやったらし・・・いろいろ話思い出してみたら
東田 あこん所に今の起舟旗あるにき旗
舟木 船の旗あっちゅう。
明石 法渡寺や法渡寺や言うて船乗りやったらしいわ
舟木 おわとこの本家やちゃ
青木 真言宗けぽんぽんぼやられる関係
山崎 あこの船木は大きい船こっちの舟木は小っちゃい舟の舟 本家と分家の関係ながかね
東田 なもありやね船方やめてここへ来たからちっちゃい舟 船方やっとなった時はでっか
い船
山崎 北前船に乗っとる所はでっかい船でわかってきた
東田 おわと？に行ってもでっかい船木？？？
山崎 ちよっとえんりょうがあっただがいちゃ
青木 わかりました
明石 やっぱ船乗りやっただがけ
東田 ええ
明石 先祖は
東田 ええ
明石 おわっちゃんのおばあちゃんちゃ六渡寺や六渡寺や言うてもう言わはらんが六渡寺や
行って来るからなん言うたはっかわからんから、考えてみたっちゃ舟木さん行ってくっ
ちやいうて
舟木 おらの親もそう言うたはった六渡寺や
明石 そしてねあの六渡寺にそろばん教えてはったもんやちゃ言うておばあちゃん言うて
はったわしとこにししよごひよごひよ教えとられた
山崎 寺子やみたいなもんやちゃ
明石 青年りょう青年りょう言うてししよごひよ孔子孟子の教え藤造ちゅう人明石藤
造ちゅう人ええ
青木 あんとこのおじいちゃん

明石 ええ そして朴木の人でも他所の人でもみな若い衆なろて行かれたもんや言うて話しとられた、そのついでに舟木さんそろばん教えておられた言うておわちゃんな話しとられた・・・んわしとこにししよごひよ教えとられた昔はししよちや何にもわからんだ孟子孔子やちゆ事を習うてから初めてししよごひよちゆ事を覚えたが

山崎 朴木で比較的古い家てのはお寺はもちろん古いだろうと思うんですがそんな次言うたら舟木さん系統になんがけ

明石 いや古い言うたらわしとこ古いらしいなんでか言うたらね 山崎 あなたとこのごっしよはんちゃどこにあんがてすか

明石 わしとこのごっしよはんちゃあの朴木やったがいど祭り？の時に反対したから

山崎 もとは朴木

明石 朴木やったがいどとっしより合併に反対したから門徒かわいた・・・笑い そう言うて高岡の今鴨島のきょうおん寺へ変わったが 山崎 なら東田さん所何処ながいね

東田 わしとこな朴木のお寺や

青木 舟木さん

舟木 おわっちゃ新湊大楽寺

山崎 村田さん

村田 小杉のさいれすさん

山崎 そしたらやっぱり明石さん舟木さんたちが古いがいやは

明石 そしたらわし所ちゃあの

山崎 さいれすさんとか大楽さんがこっちへ出てこらはった

明石 加賀藩の見回り役しとられたそうでそれは青木太兵ちゅう人おわとこの家建ててくれっしゃったええ、能登のほおだちちゆ山から加賀藩のおのり？があったそうでそのおごり？の下巻きの材料職人連れて切ってきて日本海いかだにくんで神楽川をさかのぼってわしとこの家で陸揚げしてそして明治4年4月に建ててもろたそっでその2年先に朴木の寺、覚円寺さんこれはあのわしとこのおばあちゃんの実家その山に登られた二上さん城山の手前に山あるその山わし祭っんに行っったっちゃおばあちゃんのおじいさんがおとうさんがながてにかんべん入れて山で火たいてあつがんにして昔話ちゆ言うてくれっしゃったこんなことが思い出されるもうちょっと前見られ動巖屈ちゅう二上さんの城山のすぐ山の手前に火炊いてそのこっちはなの方に動巖屈ちゅう天台宗の寺がありましよう朴木の戸村しとる言て青木太平ちゅう人がわしとこへたのんにこられて明治2年3月にたのんにこられて4月に協力してくれ言うて朴木に移転しられたそう言う話酒の飲ましてもろて聞いとんが今でも覚えとんが動巖屈ちやがくが今でもがくがあがつとる

青木 上がってますね

明石 あれは天台宗の寺ですちゃもとは今のこった一浄土真宗に変わってしゃれど明治2年にこっちへ来られるまでは天台宗の寺やったが二上のおじいちゃんがお父さんが話ししてはったさんねん？

山崎 朴木に称念寺の門徒ちゃあります称念寺

明石 ええおわとこの隣の浦田はんに

山崎 浦田さんちや

青木 明石さんの隣

山崎 わかっけども松木の出け

明石 松木の小田さんと一緒門徒 山崎 照念寺ちゅのは朴木に入りきらんだないか思うがいちゃ松木までは門徒として入ったけどもこっちへ入りきらんだだけれど松木からこっちに出られた人にとっては称念寺やっばそう言うことやね

青木 はあんやっば称念寺言うて

山崎 だからねもし朴木のどう言うていいか寺ごっしょうはんの名前を聞いてみてねそしたら古い家とかそれからどっから出て来られたとかねそれをわかつてくると思うたとえばあのさいりん寺ちゃ元々小杉にあったがかどうかちゅ事も問題ながいどもさいりん寺ちゃほんと言うたら小杉の周辺の方出てこられたん

明石 さいりん寺ちゃ村田はん所の

山崎 村田はん全部のさいりん寺ですか村田まついは

村田 なん

山崎 なんですかそしたらやっば一同じ村田でも出場所がちごが

明石 さいりん寺ちゃ倉橋じゅえもんさんとか

山崎 ええそうです や9時過ぎたがですけれど

青木 すみません長い間いろいろとありがとうございました。明石さんもまたお伺いいたしますのでどうもありがとうございました。また話したがを報告しますのではいよろしくお願いします。

山崎 おかしでも包んで

青木 固いがばっかなっしもうてすいません。

山崎 本当にたすかりました。